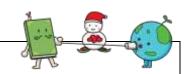
【社会】



<学習内容>「日本の歴史」教科書「歴史編」

- ◆「縄文のむらから古墳のくにへ」(教科書 10~15 ページ)をもとに、 ***
 弥生時代のくらしについて、それぞれ調べ、取組シートやノートにまと めよう。
 - (1) <u>弥生時代のくらし</u>について「住居・道具・食べ物」の3つの視点でまとめましょう。
 - ・【住居】……何という家で、何を使ってつくっていましたか。
 - ・【道具】……どのような道具をどのような目的で使っていましたか。
 - ・【食べ物】…どのようなものをつくっていましたか。
 - (2) 縄文時代(教科書 12~13ページ)と弥生時代(教科書 14~15ページ)の想像図を見比べて、同じところとちがうところを2つずつ書いてみよう。

ことば(P10)

(3) 弥生時代にxづくyが始まって、人々の生活はどのように変わりましたか。下の() に言葉を入れてまとめてみよう。

米は () ができ、() もあるので、人々の生活の 安定に役立った。米づくりが伝わることにより、() も大 きく変わっていった。

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

・歴史の学習は知識を暗記することがすべてではありません。前の時代と次の時代を比較して考えることが大切です。縄文時代と弥生時代は、米づくりによって生活の様子や社会の様子が大きく変わるため、比較して考えやすい時代と言えます。